

平成24年度冬夏会主催講演会

AFTER 3.11 / R である

2012.07.27(Fri) 15:00 ~ @M011

未曾有の、想定外の、という形容詞付きで語られる東日本大震災を、
梅原 猛氏は「天災であり、人災であり、文明災」と断じました。
先達が創り上げてきた社会システムや公共インフラの上で安穏と暮らしてきた私たちは、
被災地の惨状を見て、それらがいかに脆弱なものだったかに気づかされ、
そして、持続可能な社会を実現するために解決しておくべきだった多くの課題に目をつぶり、
先送りしてきたことを思い知らされました。

今回の講演会で、JR 東日本の大澤氏には <3.11 後の社会的な課題解決の一端を担うこれからの駅づくり>について、
UR都市機構の石渡氏には <直面している被災地復興の課題とソリューション>についてお話いただきます。

東日本大震災は私たちに世界のモデルとなる持続可能な社会システムを創造する機会を与えてくれました。
お二人のお話は、建築やその周辺領域に限らず、これから私たちが社会で果たすべき役割、進むべき道を示唆してくれます。

復興における地域への支援 石渡 廣一 氏

1979 東京工業大学建築学科 卒業
1981 東京工業大学大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻 修士修了
1981 日本住宅公団 入社<組織改編を経て、現在、独立行政法人都市再生機構>
2007 都市再生機構 東京都心支社都心業務部長
2010 都市再生機構 本社 団地再生部長
2012 都市再生機構 東日本都市再生本部長

震災後の駅をどう考えるか 大澤 実紀 氏

1987 東京工業大学建築学科 卒業
1988 JR 東日本入社後、本社施設電気部等を経て
1996 JR 東日本新宿建築技術センター助役
2000 JR 東日本東京支社事業部、本社事業創造本部
2004 JR 東日本八王子支社事業部
2007 JR 東日本事業創造本部 開発戦略部門課長
2011 JR 東日本事業創造本部 開発戦略部門部長

平成24年度 東京工業大学建築系同窓会 冬夏会主催講演会

日時：平成24年7月27日(金) 午後3時00分開演

場所：東京工業大学 緑が丘講義棟 M011

参加申込方法：冬夏会会員の方は名前・勤務先・卒業年、学生の方は名前・専攻・学年（研究室）を明記の上

メールにて冬夏会事務局 (toukakai@arch.titech.ac.jp) にお申し込みください。